

3/27 朝日

高齢者向け 6月配達完了

ワクチン 3600万人分、自治体へ

新型コロナウイルスワクチンの接種をめぐり、調整を担当する河野太郎行政改革相は26日、医療従事者と高齢者向けとして想定される計約4千万人分の自治体への配達を、6月末までに終える方針を示した。配達の日程や具体的な数量は明らか

にしなかつたが、供給元の米製薬大手ファイザー社と合意ができたと説明した。

政府の計画では500万人近くの医療従事者、約3600万人の高齢者の順で接種を始め、持病のある人などに広げていくことになっている。高齢者向けは4月12日に数量限定で開始。5日の週から順次、自治体向けに送り出す。今月24日の発表では、4月26日の週からは「全国すべての市区町村に行き渡る数量」になると書いていた。ただ、全員に接種を始めた。医療従事者向けで

高齢者向けワクチン 届く見通しは

1人2回接種。EUの輸出承認が前提

月	火	水	木	金	土	日
4月						
5	6	7	8	9	10	11
都道府県に発送 約5万人分						
12	13	14	15	16	17	18
★ 12日から高齢者への接種を開始 約25万人分						
19	20	21	22	23	24	25
約25万人分						

26日の週以降

「すべての市区町村に行き渡る数量」
具体的な日程や数量は未公表

▼ 6月末 約3600万人分の配達完了

は、当初想定していた約370万人分に関して1回目の接種用が届けられるのは4月中になると表明した。

日本が使う同社のワクチンは、欧州連合(EU)内

の工場で生産されている。約133万人分(1瓶で6回接種できると計算)が、3月中に国内に届くとの見通しも明らかにした。

(坂本純也)